

お知らせ

平成25年7月8日11時00分
大阪管区气象台発表

(見出し)

近畿地方は梅雨明けしたと見られます。

(本文)

近畿地方では、日本付近に停滞していた前線の活動が弱まり、太平洋高気圧に覆われて、概ね晴れています。

向こう一週間は、湿った気流の影響で雲の広がる日もありますが、高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。

このため、近畿地方は7月8日ごろに梅雨明けしたと見られます。

(参考事項)

1. 近畿地方の梅雨明けの時期

平年 : 7月21日ごろ

昨年 : 7月16日ごろ

2. 梅雨入りを発表した5月28日から7月7日までの降水量の合計

気象官署 降水量の合計(ミリ) 平年値(ミリ)

大阪 296.0 248.1

(降水量の合計は速報値で、平年値は1981～2010年の平均値です。)

アメダス地点 降水量の合計(ミリ) 平年値(ミリ)

能勢 219.5 258.4

茨木 292.5 //

枚方 296.5 259.5

豊中 267.0 249.8

生駒山 335.5 290.7

堺 267.0 221.7

八尾 267.0 190.7

関空島 238.0 175.3

河内長野 302.0 240.5

熊取 248.5 233.3

(降水量の合計は速報値で、平年値は1981～2010年の平均値です。)

// : 期間の不足等の理由により、統計値がありません。

(注意事項)

- ・梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。
- ・梅雨の時期に関するお知らせは、現在までの天候経過と1週間先までの見通しをもとに発表するものです。後日、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行い、その結果、本お知らせで発表した期日に変更となる場合があります。

(本件に関する問い合わせ先：

大阪管区气象台予報課天気相談所 06-6949-6303)